

平成26年度 行政評価委員会評価表

事業名	中高生ヘルパー体験講座委託	担当部	子育て支援部
		担当課	育成課

基本情報

概要	<p>【講座名】中高生の居場所づくりと仲間づくりに向けたヘルパー体験講座</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中高生が社会や他人に関心を持ち、社会体験を通して自分自身を見つめ直すこと、人への思いやりの心を育む機会を提供することを目的として実施。 ・平成18年度にNPO法人からの提案により、協働事業として開始。 ・平成22年度までは高齢者についての学習と福祉施設体験を行っていたが、平成23年度以降は中高生の参加希望が多かった保育学習・保育体験に講座内容を変更して実施している。
活動内容	<p>【体験講座】 ①実施日 平成25年7月27日から7月31日のうちの4日間 ②対象者 中学生と高校生の合計15名 ③内容 第1日目 保育についての学習や疑似体験 第2～3日目 保育施設体験(保育園児との交流) 第4日目 講座のまとめ・交流会</p> <p>【交流会】 ①実施日 平成25年10月5日(土)・11月3日(日) ②対象者 体験講座受講者を中心とした葛飾区内に在住・在学の中学生及び高校生 ③内容 金町ひまわり保育園運動会(10/5)・ひまわり保育園創立記念式典(11/3)にボランティアとして参加</p>
事業の目的	中高生が社会や他人に関心を持ち、社会体験を通して自分自身を見つめ直す機会、人と交わる力・生きる力・将来への夢を高められるような機会を提供する。

実績情報

成果指標									
目標・実績	指標	指標の根拠	単位	区分	23年度	24年度	25年度	26年度	目標
	参加人数 事業期間延人数	実績報告書 [15人×4日 +(15人×2日×50%)]	人	目標 実績	90 62	75 64	75 76		
実績の評価・分析	募集人数15名 受講者数:平成23年度16人 平成24年度15人(うち1名全日欠席) 平成25年度17人 講座回数:4回 交流会:2回 23年度以降、受講者数はほぼ募集定員の人数で推移しているが、実際には、講座から交流会へと両方を通じて参加する人数は少ない。 講座は夏休み期間中の4日間で実施するため、比較的参加が多いが、後日行う交流会については、講座実施日から日数が経っていることや、学校行事で参加が困難等の理由で、参加人数が少ない状況である。								



活動指標									
目標・実績	指標	指標の根拠	単位	区分	23年度	24年度	25年度	26年度	目標
	広報等・個別通知	起案文書等	回	目標 実績	5 5	6 6	6 6		
			目標 実績						
			目標 実績						

方向性

評価してもらいたい点 ①あり方 ②課題	①	23年度以降、福祉施設体験から保育体験に講座内容を変更したことにより、受講人数は増加し改善が見られたものの、現在では受講者にとって保育体験自体が事業内容のメインとなっており、事後に実施する交流会については参加人数が少ないため、結果として、当初の目的である居場所づくりや継続的な仲間づくりにには到っていない状況である。 中高生向けのボランティアスクールや中学生の職場体験という類似事業もある中で、当初目的との整合性、類似事業との差別化、さらには本事業の位置づけなどについて、どのような方向で見直しをしていけばいいかの提言を受けたい。
所管課 評価による 方向性	改善	中高生向けのボランティアスクールや中学生の職場体験という類似事業への発展的統合等も視野に入れた見直しを行うとともに、居場所づくり、仲間づくりのあり方についてNPO法人と検討を行っていく。

コスト内訳(決算)

項目		単位	24年度	25年度	コストの主な内訳
収入	特定財源	千円	0	0	
	国庫支出金	千円	139	139	
	都道府県支出金	千円	0	0	
	その他	千円	931	921	
一般財源(a)		千円			

事業費	直接事業費(b)	千円	280	280	
	委託料	千円	280	280	講師等報酬・消耗品費・印刷製本費・通信運搬費
		千円			
人件費等	職員人件費(c)	千円	790	780	
	人件費	千円	790	780	
		人	0.10	0.10	
	再雇用職員	千円	0	0	
		人	0.00	0.00	
	間接費(d)	千円	0	0	
	調整額(e)	千円	80	95	
	減価償却費	千円	0	0	
	金利	千円	0	0	
	退職給与引当	千円	80	95	
	(控)コスト対象外	千円	0	0	
トータルコスト(f)		千円	1,150	1,155	

単位あたりコスト	項目	単位	24年度	25年度	コスト増減の理由 調整額の退職給与引当単価の増によるもの。
	単位の定義	延べ参加者数			
	実績数値(g)		64	76	
	単位あたり区単コスト(a/g)	円	14,547	12,118	
	単位あたりコスト(f/g)	円	17,969	15,197	

中高生のヘルパー体験講座

園児の生活や保育活動を体験し、さまざまな学年の生徒や園児との交流を通じて保育について学ぶ講座です。

日程 平成25年7月27日～7月31日のうち4日間(下記のとおり)

対象 葛飾区に在住・在学している中学生・高校生

定員 15名 (申込多数の場合は選考)

参加費 保育体験実習2日間の給食費700円

※会場までの交通費、昼食代は自己負担となります。



内容等

日 時	内 容	会 場
7月27日(土) 10:00～16:00	開講式、オリエンテーション 講義・保育に関する学習	ひまわり保育園 (細田3-9-26)
7月29日(月)30日(火) 9:30～15:30	保育体験実習	ひまわり保育園 (細田3-9-26)
7月31日(水) 10:00～16:00	グループワークによる体験のまとめと発表 先輩からの話・修了式・交流会	青戸地区センター (青戸5-20-6)

申し込み 講座の申込用紙にて下記申込先へFAX、郵送等で申し込んでください。

(申込用紙は、区役所で配布するほか、区ホームページからも取り出せます。)

申込期間 平成25年6月5日(水)～7月8日(月) (必着)

月曜～金曜 8:30～17:15



〈問い合わせ・申込先〉

葛飾区役所 子育て支援部育成課管理係

(区役所4階 401番 子育て支援窓口)

〒124-8555 葛飾区立石5-13-1

電話: 5654-8293(直通)

FAX: 5698-1533

平成二十五年度 中高生のヘルパー体験講座

葛飾区とNPO法人ワーカーズコープとの協働事業

開講式、オリエンテーション、保育に関する学習(講義・体験)
7月27日(土) 10:00～16:00

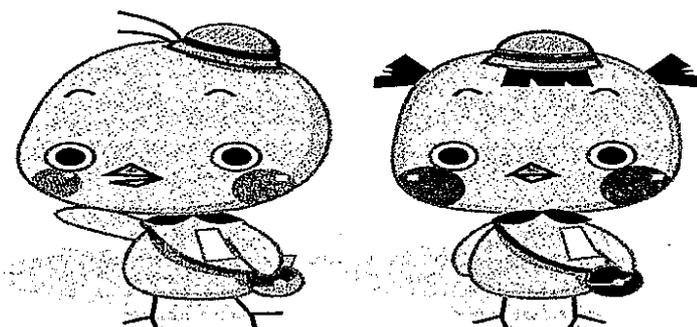
保育施設にて3～5歳児クラス保育実習

7月29日(月) 9:30～15:30

7月30日(火) 9:30～15:30

体験発表会 修了式 交流会

7月31日(水) 10:00～16:00



講座の主旨と目的

この度は「中高生のヘルパー体験講座」にお申し込み頂きありがとうございます。この事業は葛飾区とNPO法人ワーカーズコープが協働で実施するプログラムです。中学生・高校生が保育に関する学習や実習体験、実際に交流することを通じて、人への思いやりの心を育んだり、学校や家庭以外の社会を知る機会となることを目的としています。また他の学校や異年齢の受講生同士が体験を共にすることで仲間になったり信頼関係を深めるきっかけ作りにもなります。

スケジュール

- ◆ 7月27日(土) 10:00~16:00 (ひまわり保育園)
開講式、保育に関する学習
- ◆ 7月29日(月) 30日(火) 9:30~15:30
ひまわり保育園にて実習
- ◆ 7月31日(水) 10:00~16:00 (青戸地区センター)
体験発表会 修了式 交流会
- ◆ 10月5日(土) ひまわり保育園運動会 9:00~12:00
- ◆ 11月3日(日) ひまわり保育園創立記念式典 8:30~11:30

注意事項・持参品

- ◆ 欠席、遅刻に関しては必ず下記連絡先又はスタッフに連絡をお願いします。
- ◆ 受講中(座学)の私語、携帯電話の使用は禁止とします。
- ◆ 開講式、修了式は軽装(運動のできる服装 スカートやハイヒールは禁止です。)開講式は上履きをご用意ください。筆記用具、昼食、飲み物(水筒、ペットボトル)、タオル、交通費(必要に応じて)を持参して下さい。また、昼食は室内でとるようにお願いします。
- ◆ 実習保育園内での服装は、体操着、上履き着用。
- ◆ 保育実習は筆記用具、飲み物(水筒、ペットボトル)、タオル、着替え、交通費(必要に応じて)を持参して下さい。また、昼食は園児と同じ給食です。二食分700円の実費を開講式に用意してください。
- ◆ 受講・実習中は職員の言うことに従い、勝手な行動は慎みましょう。職員やスタッフの許可なく外出できません。
- ◆ ゴミは各自でお持ち帰り下さい。

連絡先は **03-3609-9604** (おーぷんはうす金町) または、

担当スタッフ

となります。

I 「開講式、保育に関する学習(講義・体験等)」

場 所 ひまわり保育園
 住 所 葛飾区細田 3-9-26
 連絡先 3673-7550

7月27日(土)プログラム(10:00~16:00)

7月27日(土) (1日目) カリキュラム

プログラム	時間	内容	備考
カリキュラム説明	10:00	あいさつ・主旨説明	
	10:10	スタッフ挨拶	高田、石川、中村
	10:20	カリキュラム説明	しおり参照
自己紹介 コミュニケーション プログラム	10:30	自己紹介・アイスブレイクをコ ミュニケーションプログラム により実施	石川
	11:30	昼食・休憩	
保育に関する 学習	12:30	乳幼児のこころと体の基礎知識 注意すべきけが、事故について	ひまわり保育園職員
	13:30	休憩	
	13:40	読み聞かせ実技	絵本を選び、読んでみましょう
感想・意見交換	15:00	各自感想発表	一日の感想文を各自書く 感想文を発表し、意見交換
スケジュール確認	15:30	2日目以降の説明	しおりで説明

持ち物： 昼食、筆記具、給食費 700 円、飲み物

服 装：運動のできる服装 (スカート、ハイヒール禁止)、上履き (かかとのあるもの)

Ⅱ 保育施設で体験実習してみよう

7月29日(月)・30日(火) (2日目・3日目) カリキュラム

場 所 ひまわり保育園
住 所 葛飾区細田3-9-26
連絡先 3673-7550

7月29日(月) 30日(火) プログラム (9:30~15:30)

時間	内容	備考
集合 9:20	ひまわり保育園待機場所	
9:30	課題保育 (プール、製作など)	エプロン着用 先生の指示に従って、 お手伝いする
11:00	昼食準備と昼食	三角巾着用 一緒にお食事します
12:15	午睡準備 (着替え、排泄、絵本の読み聞かせなど) 寝かしつけ 振り返りシート記入	
15:30	終了	

持ち物： 筆記具、飲み物、タオル (汗用、プール用)、ビーチサンダル
着替え (プールで濡れることもある為)
エプロン、三角巾 (バンダナ等)、箸、コップ (マグカップ等)

服 装： 体操着 (プールがあるので短パン)、上履き (かかとのあるもの)

7月31日(水) (4日目) カリキュラム

Ⅲ 「体験発表、まとめ、交流会」

～講座全体を振り返り、今後の活動に繋げる～

場 所 青戸地区センター3F
大会議室
住 所 青戸5-20-6
連絡先 3601-7441

7月31日(水)プログラム(10:00～16:00)

時間	内容
10:00	体験発表準備 *各グループでまとめ →①講座で何を感じたか ②何を学んだか ③日常生活でどのように生かすか
12:00	昼食休憩
13:00	体験発表 子育て支援関係先輩のお話と今後の活動について ・子育て支援関係に進学した先輩からのメッセージ ・各種ボランティア活動の紹介 ・今後の活動紹介(実習保育園の運動会、発表会) アンケート実施
14:30	修了式 修了証書を授与します。
15:00	交流会 普段の生活ぶりや関心事、今後やってみたいこと等を意見交換
16:00	終了

持ち物： 筆記具、昼食、飲み物

服 装： 動きやすい服装、スカートやハイヒールは禁止です

葛飾区とNPO法人
ワーカーズコープとの協働事業

中高生のヘルパー体験講座

実施報告書

平成25年8月

■実施概要

主旨と目的		中学生・高校生が保育に関する学習や実習体験、実際に交流することを通じて、人への思いやりの心を育んだり、学校や家庭以外の社会を知る機会となることを目的としています。 また、他の学校や異年齢の受講生同士が体験を共にすることで仲間になるなど、信頼関係を深めるきっかけづくりとします。	
担当職員		高田、中村、石川	
コマ	日時	概要、場所	受講者数
1	7/27 (土) 10時～16時	①開講式 ・オリエンテーション ・自己紹介 ②アイスブレイク、コミュニケーションプログラム ・アイスブレイクや体を使ったコミュニケーション体験を行う。 ③乳幼児の心と体の基礎知識の学習 注意すべきけが、事故について ④読み聞かせの学習 読み聞かせの実技 於) ひまわり保育園	17人
2 ・ 3	7/29 (月) 30 (火) 9時00分～ 15時00分	①自由遊びの遊び相手 ②歌、体操、自己紹介、プール遊び ③昼食手伝い、一緒に昼食 ④午睡準備、お手伝い、読みきかせ ⑤振り返りシート記入、プレゼント用の折り紙作成 ⑥お着替えのお手伝い、ベット片付け 於) ひまわり保育園	17人×2日間
	7/31 (水) 10時～16時	①講座体験発表 3日間の講座の内容をグループに分かれてまとめ、発表する。 ②子育て支援関係先輩のお話し 平成23年度受講者で、今年、聖学院大学 人間福祉学部児童学科2年生の先輩のお話	15人

		<p>ボランティア活動の紹介も併せて行う。 区内のボランティア団体や受入れ団体等について 学習する。</p> <p>③修了式 修了証書を授与する。</p> <p>④交流会 これまでの講座等を振り返りながら、受講生同士で 楽しく交流を深める。</p> <p>於) 青戸地区センター</p>	
			<p>計 66 人 (延べ人数)</p>

葛飾区とNPO法人ワーカーズコープ
との協同事業

中高生のヘルパー体験講座（交流会）

実施報告書

平成26年1月

特定非営利活動法人ワーカーズコープ

■実施概要

主旨と目的	「ひまわり保育園」の運動会、創立記念式典にボランティアスタッフとして参加し、参加者同士の交流を図る機会とする。	
担当職員	高田、石川	
日時	概要、場所	受講者数
10月5日(土) 9:00~12:00	ひまわり保育園運動会の競技準備、手伝い、競技への参加。 於) ひまわり保育園運動場	0人
11月3日(日) 8:30~11:30	ひまわり保育園創立記念式典の手伝い。 於) ひまわり保育園運動場	10人

■振り返り

「ひまわり保育園運動会」の参加確認のため、3日前より連絡をとった。葛飾区の中学高校生は、登校日となっていた。また、私立中学生も授業があるため、参加者は一人もいなかった。ひまわり保育園にお詫びの連絡を入れた。

「ひまわり保育園創立記念式典」に参加した受講生たちは、園児たちに会うまでは、自分たちのことを覚えているか不安に思っていた。受講生を見つけた園児たちは、すぐに駆け寄り楽しげに話し始めた。園からの指示は、園児たちの頑張っている姿の見守りをお願いされた。特に、具体的な手伝いは支持されていないにも関わらず、トイレに行く園児の見守り、声掛けなど自発的に行動していた。受講生たちと園児のふれあいは少なかったが、可愛く元気なお遊戯発表、5歳児の伝統あるマーチングバンドの素晴らしい演奏をきく中で、体験時に見た園児たちとは違う集中した懸命な姿に、受講生たちは感動していた。また、先生方の指導力、保育士の仕事のすばらしさについて語る受講生もいた。

中・高生のための ボランティアスクール

～ボランティア実践体験講座～

中学生・高校生でボランティア・福祉に関心のある学生を対象に、ボランティアに対する認識を深め、その関心を高めるとともに、将来の活動者の育成を図る講座です。

1. 主催 社会福祉法人 葛飾区社会福祉協議会 かつしかボランティアセンター
2. 期間 平成26年7月～27年1月
3. 会場 ウェルピアかつしか（葛飾区堀切3-34-1）他
4. 対象 中学生・高校生
ボランティア活動経験の有無は問わない。
前半全ての日程に参加できる方に限る。（後半は希望者のみ）
5. 定員 各25名（応募多数の場合は抽選）
6. 参加費 500円（ボランティア保険料ほか）オリエンテーションの日に徴収。
（活動先の施設によっては、検便、給食代が必要な場合あり）
7. 評価 全日程修了後には、修了証を発行する。前半部修了者にも希望があれば発行する。
8. 申込方法 参加希望者の方は、FAXまたはハガキに必要事項（〒・住所・名前・電話番号・年齢・学校名・学年・性別・ボランティア活動歴（場所、内容）・参加活動分野（①保育園、②高齢者施設、③障がい者施設）の中から選び、第2希望までを記入し申込む。

※担任の先生が取りまとめ、お申込みされることも可能です。

9. 申込期間 平成26年7月1日（火）＝申込み締切日必着＝
10. 申込・問合せ先 〒124-0006
葛飾区堀切3-34-1 ウェルピアかつしか3階
かつしかボランティアセンター

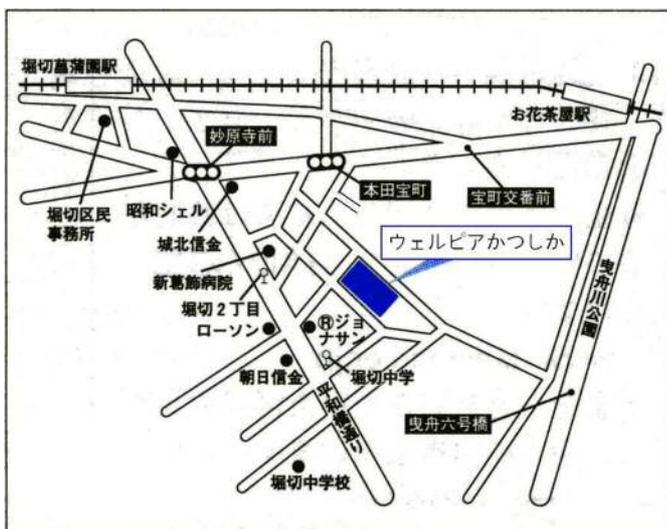
電話：5698-2511

FAX：5698-2512 担当：山野辺

日 程・内 容

日程		内容	講師／会場	
前	7月5日(土)午後1時～3時	オリエンテーション 講座日程について・保険加入 ボランティア実践活動申込等につ いて	講師：ボランティアセンター職員 会場：ウェルピアかつしか	
	7月24日(木)または7月28日(月) 午前9時40分～午後5時	基礎学習 福祉・ボランティアについて 保育とボランティア 高齢者とボランティア 障がい者とボランティア 障がいのある方と車いす体験 ボランティア活動実践について	講師：ボランティアセンター職員 元保育園園長・上村さん他 ボランティア・田名さん ボランティア・下山さん、祐成さ さん(車いす使用者) 会場：ウェルピアかつしか	
	Aコース	Bコース		
半	7月30日(水)～8月1日(金) 午前9時～午後5時	8月4日(月)～8月6日(水) 午前9時～午後5時	施設での体験学習(3日間) 高齢者、障がい者施設、保育園で ボランティア実践活動	各施設
	8月8日(金)午後1時～3時		まとめ 体験発表、ワークショップなど	講師：ボランティアセンター職員 会場：ウェルピアかつしか
後	10月(調整中)	赤い羽根共同募金・街頭募金活動	会場：亀有駅前	
	12月7日(日) 午前9時～午後4時	かつしかボランティアまつり イベントボランティア参加	ウェルピアかつしか	
	冬休み期間	冬休みのボランティア体験	各施設	

会場案内図(葛飾区堀切3-34-1 地域福祉・障害者センターウェルピアかつしか)



京成電鉄

上野線「堀切菖蒲園駅」下車 徒歩13分

上野線「お花茶屋駅」下車 徒歩13分

レインボーかつしかバス

金町駅～(亀有駅・お花茶屋駅経由)～ウェルピアかつしか(有71)

「ウェルピアかつしか」下車

京成タウンバス

綾瀬駅～新小岩駅(新小51)

「堀切中学校」下車 徒歩3分

金町駅～(亀有駅・お花茶屋駅経由)～ウェルピアかつしか(有70)

「ウェルピアかつしか」下車

～昨年度の報告(実績)～

7月6日(土) 13:00～15:00

①オリエンテーション 趣旨説明、事前指導、参加申込書の記入など。

7月25日(木)、7月29日(月)

②基礎学習 9:40～16:30

福祉・ボランティアについて(ボランティアセンター職員)

保育とボランティア(講師:元保育園園長辻村さん)

高齢者とボランティアについて(講師:ボランティア田名さん)

障がい者とボランティアについて

障がいのある方と車いす体験(講師:ボランティア下山さん)

ボランティア実践活動について(ボランティアセンター職員)

Aコース 7月31日(水)～8月2日(金)

Bコース 8月7日(水)～9日(金)

③体験学習3日間、施設(保育園・高齢者・障がい者)でのボランティア実践活動

Aコース 8月5日(月)、Bコース 8月12日(月)

④まとめ 13:00～15:00

体験発表 ワークショップ・まとめ

昨年度参加者: 13名

10月20日(日)

⑤赤い羽根共同募金活動(JR 亀有駅前)…荒天のため中止

12月7日(日)

⑥ボランティアまつりにイベントボランティアとして参加

昨年度参加者: 28名

参加した生徒からの声

保育園でボランティアをしてきました。お昼寝の寝かしつけを頼まれました。子どもたちが話かけてきて、なかなか寝付いてくれないので苦労したけど、その姿もかわいかった。ようやく寝てくれた時にはうれしくて、保育士になりたい!と思いました。

保育園で気づいたことは、3～5歳児にもなると、きちんと説明すると納得して待っていてくれる、理解してくれるということです。保育士さんはとても忙しく大変で、常に臨機応変に行動しなくてはならない職業だと実感しました。この体験を進路にも活かしていきたいらいいなと思いました。

保育園の先生というのは、子どもを見守ったり、子どもと一緒にいる仕事だと思っていました。でも、現状を見て驚きました。園児がお昼寝をしている間も、お皿洗いや器具の消毒をしていました。それを見て、私が小さかった頃も、陰でたくさんのお世話をしてくださっていたのだな、と初めて考えるようになりました。

作業所へボランティアに行きました。利用者の皆さんが休憩時間に話しかけてきてくれて、とてもうれしかったです。また機会があったらボランティアに行きたいです。

高齢者施設はさびしい所なのかな、と思っていました。が、実際行ってみると、皆ニコニコとして明るい所でした。食事の配膳では、その人によって食事制限があったりするので、誰がどの食事が覚えるのが大変でした。でもとても大切なことを学べたと思います。

～写真で見る活動の様子～



保育とボランティア 講義



高齢者とボランティア 講義



車いす体験



保育園での実践活動

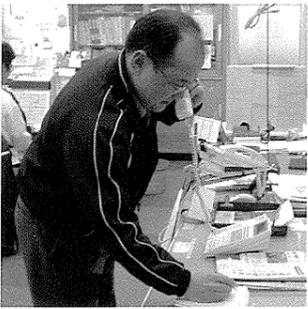


ワークショップ



ボランティアまつり

ご依頼から実際の活動まで

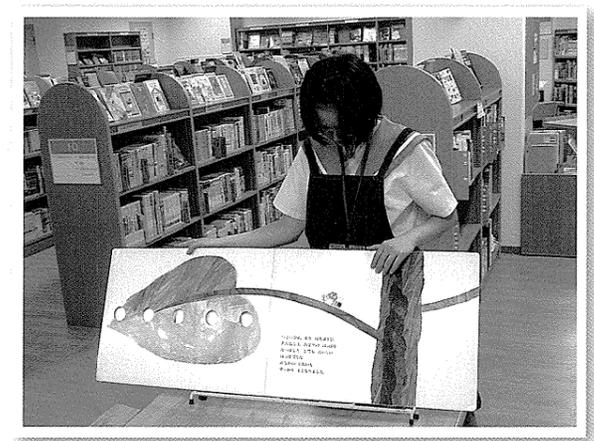
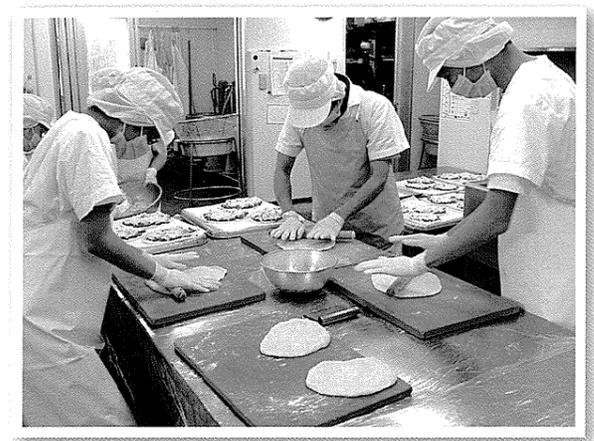
<p>①</p>  <p>事業所の皆様からの受入れの情報をもとに、「職場体験受入事業所一覧」を作成します。生徒は一覧の中から、体験させていただきたい事業所を探します。</p>	<p>②</p>  <p>受入決定後、体験のプログラムなどについて、中学校の担当教員と打ち合わせを行っていただきます。具体的な注意事項やきまりなどありましたら、遠慮なくお申し出ください。</p>	<p>③</p>  <p>受入当日、事前に決めたプログラムに基づき、体験を実施します。体験終了後、学校によっては、簡単なアンケートをお願いすることがあります。</p>
--	--	--

5日間の職場体験例

※あくまでも一例ですので、受入れていただく事業所と中学校で、内容等をご相談ください。

	1 日 目	2 ~ 4 日 目	5 日 目
午前	○あいさつ、自己紹介 ○事業所の概要や 仕事の内容を教わる ○5日間のスケジュールの説明 等	○清掃、道具などの準備・整備 ○接客や実務の体験	○清掃、道具などの準備・整備 ○接客や実務の体験 等
午後	○担当の方について、業務内容を 教わる ○一日のまとめ 等	○接客や実務の体験 ○片付け、まとめ 等	○接客や実務の体験 ○片付け ○5日間のまとめ ○あいさつ、お礼 等

事業者の皆様へ
体験は生き方をはぐくむ源です!
 ~葛飾の子供たちは「夢」に向けて頑張っています~
 5日間の「中学生の職場体験」にご協力をお願いいたします



Q 活動中のケガが心配ですが

A 事業所の皆様が、生徒を安心して受け入れていただけるように、職場体験中に生徒が負傷等をした場合には、学校管理下における活動として、日本スポーツ振興センターの災害共済給付があります。又、生徒が事業所の皆様やお客様を負傷させたり、器物を破損した場合の損害賠償責任保険に教育委員会が加入しています。

Q 遠くの学校から生徒が来るけど交通費は大丈夫?

A 区内全中学校で実施するため、近隣の事業所だけではなく、場合によっては遠方の事業所で活動する場合があります。そこで、学校から1キロを超える事業所までの交通費については、教育委員会より支給しています。

Q 何時から何時まで受け入れればいいのか?

A おおむね午前9時から午後3時の間で、ご都合のよい時間をお願いします。なお、その時間外で受け入れていただける場合は、ご相談ください。

葛飾区・葛飾区教育委員会では一カ所でも多くの事業所の皆様のご協力を求めています。生徒受け入れのお申し出やお問い合わせなど、お気軽にご連絡ください。
葛飾区教育委員会指導室 ☎5654-8573

葛飾区・葛飾区教育委員会

職場体験とは

生徒が、商店や事業所、地元企業、公的施設などの地域の職場で働くことを通じて、職業や仕事の実際について体験したり、働く人々と接したりする学習活動です。

職場体験を通して、社会の一員としての自覚を促すとともに、望ましい社会性や勤労観・職業観を育成することが大きなねらいです。

平成25年度は、2,970人の生徒が、のべ1,037カ所の事業所に受入れていただき、職場体験をおこないました。



なぜ連続5日間実施するのですか？

5日間の職場体験を実施することにより、仕事への知識や体験先の人間関係が深まるとともに、子供たちにとって働くことの素晴らしさ、喜び、厳しさなどの理解が進むなど、様々な効果が期待されます。例えば、緊張の1日目、仕事を覚える2日目、仕事に慣れる3日目、仕事を創意工夫する4日目、感動の5日目など、時間の積み重ねが生徒一人一人の心に変容を与えることが期待されます。



子供たちにとって

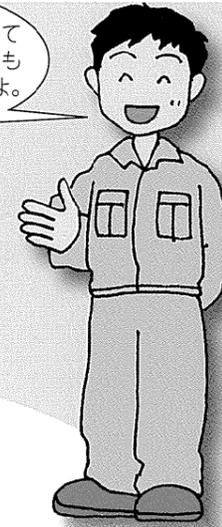
- ・働くことの喜びを知ることができます。
- ・多くの職業人との交流を通じて、コミュニケーション能力が向上します。
- ・社会人としての基本的なマナーを身に付けることができます。
- ・地域の一員としての自覚が芽生えます。
- ・実際に仕事をしていくうえで、学校での学習がなぜ大切なのか知ることができ、学習意欲が向上します。



最初はできるかなって心配ばかりでしたが、一日一日自分が成長していくのが分かりました。

事業所・地域にとって

- ・子供たちの地域への理解を深めることができます。
- ・職場を活性化するとともに、企業価値を高めることができます。
- ・次代の職業人を育てます。

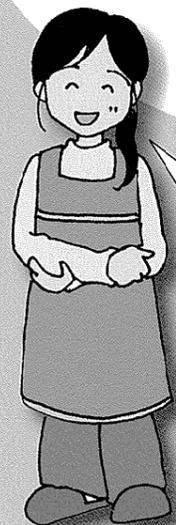


だんだん積極的になってきましたね。受け答えもはきははしてきましたよ。

職場体験を実施することで次のような効果が期待されます

家庭にとって

働くということを通じて、子供との会話を促進する機会にもなり、働くことの尊さや感謝の気持ちが芽生えます。



働くことの大切さや大変さを実感しているみたいね。将来の進路についても色々考えるようになったわね。

体験先では、学校とはまた違った姿を見せてくれました。学校では得られないものをつかんでくれるといいですね。

学校にとって

- ・教育活動の見直しになります。
- ・教員の意識改革を進めることができます。
- ・保護者や地域に対する「キャリア教育」の理解を促進することができます。



平成26年度「中学生の職場体験」予定日程 (平成26年1月現在)

学校番号	中学校名	日 程	学校所在地	参加予定生徒数
22	東金町	平成26年 6月30日(月) から 平成26年 7月 4日(金) まで	東金町5-3-1	134
1	本 田	平成26年 7月 7日(月) から 平成26年 7月11日(金) まで	東立石4-7-1	134
10	堀 切		堀切1-36-1	99
14	小 松		新小岩4-30-1	107
15	亀 有		亀有1-23-1	158
20	青 葉		堀切8-12-1	117
21	高 砂		平成26年 9月 4日(木) から 平成26年 9月10日(水) まで	高砂3-32-1
8	中 川	平成26年 9月 8日(月) から 平成26年 9月12日(金) まで	東四つ木1-3-1	72
18	一之台		西亀有4-1-1	68
5	奥 戸	平成26年 9月11日(木) から 平成26年 9月17日(木) まで	細田1-6-1	182
2	金 町	平成26年10月 6日(月) から 平成26年10月10日(金) まで	南水元3-1-1	172
24	新小岩		西新小岩2-1-2	94
9	桜 道	平成26年11月21日(金) から 平成26年11月28日(金) まで	柴又4-3-1	104
19	青 戸	平成26年11月25日(火) から 平成26年12月 1日(月) まで	青戸5-10-1	144
11	双 葉	平成26年12月 1日(月) から 平成26年12月 5日(金) まで	お花茶屋1-10-1	99
4	新 宿	平成27年 1月19日(月) から 平成27年 1月23日(金) まで	新宿3-20-10	203
13	四ツ木		四つ木4-22-1	89
17	常 盤		金町2-11-1	175
6	綾 瀬		小菅2-12-1	54
7	上平井		東新小岩4-2-1	138
3	水 元		水元3-20-1	168
16	立 石		平成27年 1月26日(月) から 平成27年 1月30日(金) まで	立石6-3-1
12	大 道	四つ木5-22-1		103
23	葛 美	平成27年 2月 2日(月) から 平成27年 2月 6日(金) まで	水元2-17-1	107
			合計	2,982

平成25年度事務事業評価表（基本）

事務事業名	中学生職場体験事業	重点評価 区分	重点	担当部	教育委員会事務局
				担当課	指導室

基本情報

1 事務事業の概要

開始年度	平成20年度	根拠法令	—
性質区分	教育	実施形態	民間事業者との協働
対象者	中学2年生		
裁量区分	あり		
実施内容 (事務事業の実施 内容、手段、過去の 改善実績等)	平成20年度より連続した5日間の職場体験を全校で実施。平成18年度は3校のモデル校（奥戸・葛美・堀切）の実践により課題を把握し、平成19年度は5校のモデル校（奥戸・葛美・堀切・四ツ木・綾瀬）に拡大し、その他の学校においては1～4日の職場体験を全校で実施して、20年度からの全校5日間の実施に備えた。21・22年度は、区民・地域・事業所に事業の趣旨を理解してもらえよう、各種団体への依頼や、広報への掲載、リーフレットの配布などで、各学校とともに受入職場の確保に努めた。		

2 施策及び事務事業目的

施策 番号	施策	1902	社会生活のルールを学び、悩みを解決する中で、心豊かな学校生活を送ることができるようになります
事務事業目的	キャリア教育の一環として区内の中学生の職業観の育成を図る。		

実績情報

1 成果指標の達成状況

成果指標	指標の根拠	単位	区分	22年度	23年度	24年度
5日間実施の学校数	—	校	目標	24	24	24
			実績	24	24	24
—	—	—	目標	—	—	—
			実績	—	—	—

2 活動指標の達成状況

活動指標	指標の根拠	単位	区分	22年度	23年度	24年度
5日間の受け入れ事業所数	—	箇所	目標	1,200	1,200	1,200
			実績	1,096	1,126	998
—	—	—	目標	—	—	—
			実績	—	—	—
—	—	—	目標	—	—	—
			実績	—	—	—
—	—	—	目標	—	—	—
			実績	—	—	—

3 コスト内訳（決算）

項目		単位	24年度	
収入	特定財源			
	国庫支出金	千円	0	
	都道府県支出金	千円	0	
	その他	千円	0	
	一般財源 (a)	千円	4,414	
支出	直接事業費 (b)	千円	2,439	
	消耗品費	千円	245	
	印刷製本費	千円	172	
	通信運搬費	千円	1,946	
	保険料	千円	76	
		千円		
		職員人件費 (c)	千円	1,975
		人件費	千円	1,975
		人	0.25	
	再雇用職員	千円	0	
		人	0.00	
	間接費 (d)	千円	0	
	調整額 (e)	千円	200	
	減価償却費	千円	0	
	金利	千円	0	
	退職給与引当	千円	200	
	(控) コスト対象外	千円	0	
	トータルコスト (f) (b+c+d+e)	千円	4,614	

4 単位あたりコスト

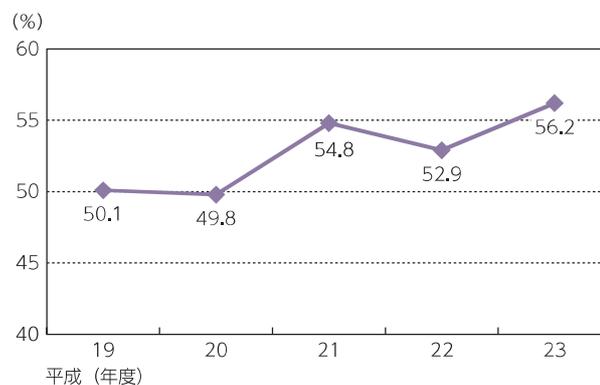
項目	単位	24年度
単位の定義		職場体験生徒数
実績数値 (g)	人	3,033
単位あたり区単コスト (a/g)	円	1,455
単位あたりコスト (f/g)	円	1,521

施策 02 子育て中の家庭を支援し、安心して子どもを育てられるようにします

【施策を取り巻く現状と課題】

- 少子化の進行や核家族化、近所付き合いの希薄化などを背景に、家庭や地域の子育て力が低下しています。
- 政策・施策マーケティング調査によると、安心して子育てできると思う区民の割合は5割程度で推移しています。
- 在宅で子育てをしている家庭が、出産や通院等により保育することが難しい場合や、保護者自身の活動やリフレッシュなどの場合にも利用できる保育サービスのニーズが高まっています。
- 子育てにかかる経済的な負担感が大きくなってきており、保護者に対する経済的な支援が求められています。
- 子ども・子育て関連3法が平成24年8月に制定され、子ども・子育てに関する新たな制度の実施方法等の詳細について、国で検討が行われています。

安心して子育てできると思う区民の割合



出典：「葛飾区政策・施策マーケティング調査」

【施策の方向】

- 在宅で子育てをしている親の育児不安や孤独感を解消するために、子育て中の親同士が出会い、気軽に情報交換や相談のできる場づくりを進めます。
- 在宅での子育てを支援するため、保護者自身の活動やリフレッシュなどの場合にも利用しやすい保育サービスを提供します。
- 医療費の助成や私立幼稚園に通っている子どもの保護者に対する保育料の補助などにより、子育て家庭に対する経済的負担の軽減を図ります。
- 子ども・子育てに関する新たな制度を踏まえ、施策を推進していきます。



子育てひろばの様子



幼稚園の様子

【指標と目標値】

指 標	指標の説明又は出典	現 状 値 (平成23年度)	平成27年度	平成30年度	平成34年度
安心して子育てできる と思う区民の割合(%)	政策・施策マーケティング調査	56.2	57.8	58.8	60.0

【区民の役割】

□ 地域全体で子どもたちを見守り、子育て家庭が地域で孤立することがないように、子育て支援の輪を広げましょう。また、妊婦や子ども連れの方が困っている時には、声かけをしましょう。

【事業者の役割】

□ 小売店等は、子育て支援の観点から、子どもを連れていても利用しやすいような工夫に努めましょう。

【計画事業】

事 業 名	事 業 内 容
子育てひろばの設置	親子で遊べる場、子育て中の親同士が仲間づくりや相談ができる場として、「子育てひろば」の整備を保育所等の整備に合わせて進めます。整備を計画する社会福祉法人等に対して、施設整備費の一部を助成します。
一時保育の設置	親のリフレッシュなどにより保育が一時的に必要なときに子どもを預かる施設の整備を、保育所の整備に合わせて進めます。整備を計画する社会福祉法人等に対して、施設整備費の一部を助成します。

〈事業一覧〉(平成24年度実施)

幼稚園就園奨励事務(私立幼稚園)	中高生ヘルパー体験講座委託
私立幼稚園等園児保護者負担軽減	三人乗り自転車購入費助成事業
園児健康管理費助成(私立幼稚園)	赤ちゃんの駅事業
園外保育用バス借上費助成	児童福祉施設入所児童レクリエーション費助成
幼稚園案内作成費助成	児童館管理運営
施設整備資金助成(私立幼稚園)	子育てひろば事業運営
預かり保育事業費助成(私立幼稚園)	子ども医療費助成事業
私立幼稚園指導監督事務	児童手当等事業
私立幼稚園教育研究会助成	幼稚園管理運営
次世代育成支援対策地域協議会運営	